

# 水に強く、さわやかで、エコ。 和紙の可能性を追求しています。

美濃市の市街地を歩くと、和紙にちなんだお店をあちこちに見つけられます。明治9年創業の「松久永助紙店」は、雰囲気のある店構えに思わず立ち寄りたくなる美濃和紙の老舗。伝統に甘んじることなく、和紙製のタオルや靴下、カバン、足袋や雪駄など、新たな商品開発に取り組んでいらっしゃいました。



アポなしだったにもかかわらず、親切に対応してくれたのは、営業担当の松久恭子さん。老舗和紙店の娘さんです。



## 和紙糸の特長

- ◎麻糸と同様な清涼感がある
- ◎非常に軽い(比重は麻糸の1/3)
- ◎吸放湿に優れ、快適な着用感
- ◎通気性に優れている
- ◎エコ素材

和紙糸の原料になるマニラ麻は極めて成長が早く、2~3年で生育し、使用後も土の中の微生物により炭酸ガスと水に分解されます。「自然から作られ、自然に戻り、再利用できる」まさに循環型の素材です。

株式会社松久永助紙店 〒501-3728 岐阜県美濃市本住町 1929  
電話 0575-33-0007



水に強く衣料に適した紙の糸が開発され、和紙の可能性が大きく広がった。



和紙のタオルは、美濃和紙と今治タオルとのブランドコラボレーションによって生まれた商品。独特の風合いがあり、乾きが速いのは和紙ならでは。



和紙の靴下も売られていた。麻糸のような清涼感があり、履き心地がさわやかだとのこと。



# エコツー

エコムつうしん 50号 -1月号-

50

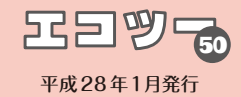


## 醸造文化

- ここが知りたい！エコムちゃん  
「盛田味の館」
- うれしいエコ！みつけた「和紙タオル」

「エコツー」は、地域から地球まで、持続可能な社会を考えるコミュニティペーパーです。

----- エコツーは、広く皆さまに親しまれる冊子をめざし、リニューアルしました。-----



発行：エコムカワムラ株式会社 岐阜県安八郡輪之内町里85番地の3  
TEL 0584-68-2033 (代)  
制作：Ishii Design TEL&FAX：042-973-4004 mail@ishii-design.info

※表紙のイラストは一部廃材を使用しています。今月は「廃たみ」です。 《再生紙を使用》



ここが知りたい!  
エコムちゃん

学ぶ

遊ぶ

働く

## 醸造文化

比較的温暖な気候の知多半島。

太平洋へと突き出ているその地形から独特な文化が育ち、  
浜辺の風景はちょっとトロピカルな感じがするね。

この半島では、お酒造りが盛んだよ。18・19世紀には、  
半田・亀崎を中心に海運という地の利を生かした江戸市場向けの酒蔵が  
いくつも生まれ、最盛期には200蔵以上の酒蔵があったというよ。

酒造りだけではなく、その時代から現代にいたるまで  
味噌、たまり、醤油、みりん、  
酢などの醸造品が造られてきたんだ。  
これらの製品が地元での消費だけではなく、  
全国をターゲットとして生産されているところが、すごいよね。

知多半島の品々がシェアを獲得できた理由は、  
その品質の高さ。

雑菌が繁殖しにくい寒い時期に酒の仕込みを行う寒造りや、  
十分発酵させて味わいのある酒を造る段仕込みなど、  
上方の進んだ製法を取り入れてきた。

醸造は、じっくりと時間をかけて醸し出す営み。  
この本物を造り続ける姿勢が、  
持続可能な文化を生んでいるんだね。

The brewing



### ものづくり半島

知多半島のものづくりは、酒造を中心とした醸造業だけではありません。江戸時代の物資輸送の主たる手段は海でつながる廻船でした。海は全国へとつながっていて、その利を活かした製造業が方々で生まれています。

- ◎焼き物(常滑)
- ◎木綿(知多)
- ◎ビール(半田)
- ◎トマトソース(東海)
- ◎瓦(高浜)
- ◎えびせんべい(美浜)



## 盛田味の館

盛田株式会社は江戸時代からずっとお酒や味噌、しょうゆなどの醸造品を創り続けている会社。はじまりは1665年(寛文5年)で、350年以上の歴史を有しているんだ。ゆかりの展示物や工場の見学ができる施設「盛田味の館」を見学してきたよ。



味噌煮込みうどん  
美味しいよ!



館長の石井誠さんに館内をご案内いただいたよ。築170年の醸造蔵を改造した建物には、杉櫓が並べられ、酒蔵の雰囲気に浸れたよ。



館内では、銘酒「ねのひ」の利き酒や、田楽・味噌煮込みうどんなど、味噌で作った料理も食べられるよ。



15名以上の団体さまの工場見学を受け付けているそうだよ。その日も、地元の小学生が学びに来ていたよ。



15代目当主盛田昭夫は、醸造の道から転身し「世界のソニー」を創業した人物。その軌跡をたどる展示もあったよ。

### 鈴溪義塾(れいけいぎじゅく)

盛田家は、文明開化に揺れ動く明治期、当地に私塾を開塾。高度なカリキュラムを展開し、トヨタの中興の祖・石田退三や敷島パン創業者・盛田善平をはじめ、たくさんの方を輩出しています。あまり知られていないことですが、驚くべき事実です。



### ご案内

愛知県常滑市小鈴谷字脇浜10番地  
(電話)0569-37-0733

開館時間：10:00～16:00

休館日：毎週水曜日・お盆・年末年始  
入場料無料/駐車場有り(無料)

